拓水

6月号
No. 261

発行所
兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産業改良普及協会
〒652
神戸市兵庫区中ノ島2の2の1
発行人　兵庫県漁業協同組合連合会
会長理事　山田岸松
TEL　681－6954～7
一部　10円

系統利用の伸長

漁政活動の積極的展開

通常総会開催される

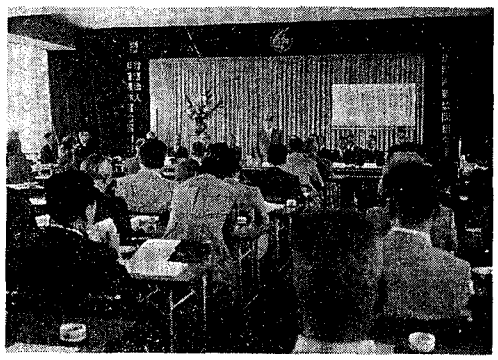
水産会館

兵庫県漁連昭和五十三年通常総会は、去る五月二十三日午前十時三十分より水産会館において開催された。総会は、会長あいさつの後、坂井兵庫県知事より来賓あいさつがあり、そのなかで知事は、全国でも有数の水産県である本県漁業に誇りをもち、とりわけ、漁業後継者の育成強化に力を入れたいと述べた。

次いで、事務局より出席人員報告（本人出席69名・委任状2名）があり、議長には桂一心坊勢漁協長を選任し、議事に入った。

総会では、7議案が上程され、原案どおり可決承認された。また、欠員になっていた3名の役員に、村瀬和夫柴山港漁協長、西岡美彰炬口漁協長、桂一心坊勢漁協長が選任された。

昭和五十二年度事業報告ならびに昭和五十三年度事業計画の概要は次のとおりである。



昭和五十二年度事業概要

㈠ **購買事業**

石油は、不況とドル安の世界経済のなか需給関係、価格動向の予測は困難な市況であったが、漁船漁業、のり生産の好転により、販売量は前年度に比し大幅に増加した。

一般資材については、但馬地区のロープ取扱い開始もあって、計画を上廻る実績をあげた。

㈡ **販売事業**

販売事業は、乾のり共販のほか、わかめ共販をはじめ、多獲性魚対策としての飼料用魚類の取扱い等、新しい事業に取り組みました。乾のり共販は、漁期前半の季節風による被害等はあったものの、後半に持ち直し、総生産は七億七千万枚・百五十五億円と従来の最高を記録するものと思います。

㈢ **指導事業**

二百カイリ時代への突入に関する陳情活動などの漁政活動ならびに「漁協業務総点検調査」を系統団体の協力を得て実施した。

昭和五十三年度事業計画

㈠ **購買事業**

漁業経営に占める購買事業の重要性に鑑み、系統の経済的主体制を確保すべく系統一丸となった活動を実施する。特に、本年は、全漁連の資材購買モデル県（3県）指定をうけ更なる事業推進体制の拡充につとめたい。

㈡ **販売事業**

販売事業は、漁協系統事業の根幹となるもので、特に水産物の格価安定及び流通加工対策の強化を計るべく、のり共販、わかめ共販を主軸に展開してゆく。

特に、2年目を迎えるわかめ共販については、全漁連との連携を強化しわかめ養殖の経営安定に資したい。

㈢ **指導事業**

新海洋法時代に対応すべく、中央における系統運動と連携をとり、一方、漁協系統の連帯と協同意識の高揚をはかる。

㈣ **貸出業務**

県内漁業は前年度同様、設備投資が続く一方、経営推進のための融資が促される二面性が顕著となり、資金の需要は増大いたしました。

本会は、これらの資金の貸出に積極的に取り組み、会員並びに所属員各位のご期待に応え得たものと考えます。斯くして、貸出金残高は、長短期資金とも計画を上廻る実績となり、前年同期より二〇億九千万円上廻る一三三億八千万円となりました。

㈤ **財務状況**

貯金のコスト並びに、貸出金、預け金等の運用利廻りは前年度と比べ大きく変動して、全般的に低下しました。

したがって、資金量の増加に支えられ好決算となりました。又、特に五十二年度は、貯蓄奨励金を前年度より〇・二％上積みし、〇・四％の優遇措置を講じ、会員の信用事業利ざや確保に貢献し得たものと考えております。

剰余金の処分については諸積立の後、出資配当金として最高の八％を、又、特別配当金では、貯金利息一〇〇円につき七円の割合で八千二〇〇万円を計上し、年度を終了することができました。

◇昭和五十三年度事業計画の概要

貯金は前年度の実績をふまえ、漁協貯金の一層の充実をはかるべく、漁協役職員一体となって引続き積極的な推進につとめるとともに、本会貯金についても、再預け率と系統利用率の向上を基盤とした増加を図ることとしている。

一方、資金の貸出については、前年度に引続き長短期資金とも、その需要は旺盛なものと予想されますので、これをうけて、融資の円滑化につとめます。

本年度は特に、漁協総点検をもととして、個別指導を強力に推進し、漁協の貸出体制の強化、事務の合理化等、体制整備の指導推進と相まって、効果的な融資を行うこととといたします。

漁協系統事業体制の確立こそ急務

信漁連専務　天野栄蔵

すなとい

わが国水産業界の危機を叫ぶ声が各方面に広がっている。確かに、二百カイリ旋風が吹き荒れる中で、消費流通面に大きな変革があらわれ、加えて漁業界の持っていた体質的なぜい弱さが一層の拍車をかけている。これは正に内憂外患であり、曲り角にきたわが国漁業の方向づけどころか、しかるべきであるが、基本は自らの改善意欲であり、自らの建策実行である。その推進の柱として、漁協系統組織の果すべき役割は大きく、課せられた責務は重いといわなければならない。漁協の役割は、その営む事業―それは信用、販売、購買、利用、加工、製氷冷蔵等々多角的であり総合的である―を漁業者のために公表される「県下漁協事業総点検調査結果報告書」でも解明されよう。これに対して、関係者は早急にかつ真剣にその除去と対策を講ずべきである。

原因はいろいろ挙げられよう。いづれも、会員並びに貯金者各位の信頼にもとづく再預けの向上により二〇七億円の残高となり、いよいよ二〇〇億円台の安定的な資金量を持つこととなりました。このことは、会員各位のご努力、ご協力はもとより、県農林中金等関係諸団体のご支援の賜であり、ここに厚くお礼申しあげるものであります。

この結論にはなお相当の日時を要しようが、忘れてはならないポイントは、これらの命題特に経営対策にとり組む主役は、漁業者自らであり、漁業者の組織する漁協（及び県連・全漁連の系統団体）であるということである。

漁業経営とは純粋に経済問題であり、従って自主自立の建前が本来自明の理であるが、案外このことがなおざりにされている。依然として「お上依存」型が多い。もちろん必要な助成、援助は求めてやまないが、国際漁業とよばれる遠洋沖合漁業であるが、比較的安定型といわれる沿岸漁業にあってもいづれその影響は不可避というべきである。こうした中にあって、新時代での漁業再編成問題、或いは魚価対策、経営対策が真剣に討議されている。

国、県への水産施策、予算に関する陳情活動などの漁政活動ならびに「漁協業務総点検調査」を系統団体の協力を得て実施した。

漁協は、本来経済事業を行う経営体たるべきものである。経済事業を営まない漁協、単なる漁業権管理組合に過ぎない漁協は、それ自体漁協としての位置づけを放棄したものといって過言ではない。これらの漁協は、今直ちに経営基盤の再編―漁協合併―を図る必要があろう。また、折角事業を実施しながら低迷の域を出ないでいる漁協も、ここで改めて、抜本的な見直しをする必要があろう。

新しい時代の中で要請される漁協の運動、それは系統的組織的、かつ、総合的な事業の利用でなければならない。系統全利用こそが団結のシンボルであり、生存への道である。これを推進するためには、何よりも漁協の事業体制の確立がはかられなければならない。本年度は、県、全系統団体がこぞってこの問題に取りくみ、体制整備運動の展開と漁協個別指導の推進を意図しているところである。漁協においても積極的に参加されるよう訴えるとともに、所期以上の効果の挙がらんことを切望する次第である。

幅広く展開することであり、漁協の責務は、その機能を通じて漁業者の経営向上に資することである。明白なこの原理は、一般によく知られているにもかかわらず、必ずしも漁業者の期待に充分応えているとはいい難い現状である。

兵庫県における漁協の実態を大ざっぱにみてみると、沿海地区漁協のうち、信用事業実施組合（六三％）販売事業実施組合（八〇％）購買事業実施組合（七五％）となっており、事業未実施組合数が少くない。また、実施組合にあっても事業状況の不活潑なものも少くない。地域別にみると、日本海側漁協がすべて実施組合であり、かつ、質量ともにレベルが高いのに比し、内海側漁協にこの低調さが集約されている。内海側漁協の中でよくその機能を果しているのは十指を数え得るだろうかというのが現状である。

第27回 信漁連通常総会開催 5.18

信漁連の第27回通常総会は、去る五月十八日午後一時より水産会館大会議室で開かれた。

会長挨拶に続き、来賓の県水産課福井課長、農林中央金庫神戸事務所安部所長両氏の祝辞のあと議長に森漁協孫吉一組合長を選任し、盛会のうちに金議案の審議を無事終了した。尚、当日の総会要旨は次のとおりである。

◇貯蓄優良組合の表彰

昭和五十二年度の本県漁協貯蓄は諸般の悪条件にもかかわらず、漁協役職員の必死のご努力が実り、ここにめでたく目標額達成の快挙を成し遂げました。

この中にあって、特に貯蓄実績の向上と、貯蓄運動の推進に積極的に活躍された三漁協がその栄を受けることになりました。

日頃のご苦労、ご辛苦に対して心から拍手を贈り、受彰を祝福するものであります。

◇昭和五十二年度の事業概況

㈠ **貯金業務**

本県にあっては、全国運動に呼応して当初期末残高目標二五八億円、期中純増加目標三四億円を設定し運動を進めましたが、期中において伸長率はやや停滞し、目標達成が危ぶまれたのでありますが、年度末に実施した全県的運動が実り期末残高は二六一億五千万円で、目標達成となりました。

又、本会の貯金においても、実績を高く評価された二百カイリ時代への突入に関する陳情活動などの漁政活動ならびに「漁協業務総点検調査」を系統団体の協力を得て実施した。

㈡ **販売事業**

販売事業は、漁協系統事業の根幹となるもので、特に水産物の格価安定及び流通加工対策の強化を計るべく、のり共販、わかめ共販を主軸に展開してゆく。

特に、2年目を迎えるわかめ共販については、全漁連との連携を強化しわかめ養殖の経営安定に資したい。

㈢ **指導事業**

新海洋法時代に対応すべく、中央における系統運動と連携をとり、一方、漁協系統の連帯と協同意識の高揚をはかる。

㈣ **貸出業務**

県内漁業は前年度同様、設備投資が続く一方、経営推進のための融資が促される二面性が顕著となり、資金の需要は増大いたしました。

本会は、これらの資金の貸出に積極的に取り組み、会員並びに所属員各位のご期待に応え得たものと考えます。斯くして、貸出金残高は、長短期資金とも計画を上廻る実績となり、前年同期より二〇億九千万円上廻る一三三億八千万円となりました。

㈤ **財務状況**

貯金のコスト並びに、貸出金、預け金等の運用利廻りは前年度と比べ大きく変動して、全般的に低下しました。

◇理事の補欠選任

本会理事の定数に三名の欠員が生じたので、規程に従い役員候補者が推せんされ次の方々が理事に就任されました。

。村瀬和夫（柴山港漁協長）
。阿部春雄（富島漁協長）
。中村与助（家島漁協長）

×　×

アイナメ種苗放流を実施

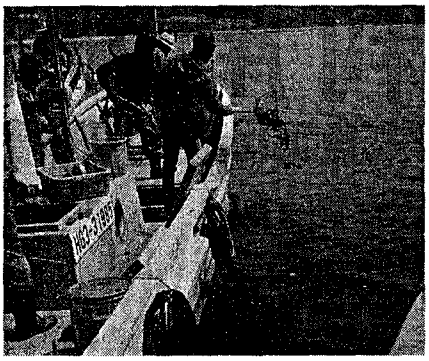
県漁連

県漁連では、去る五月十六日より東二見漁協がアイナメ操業開始したのを受けて、アイナメ種苗の放流を各地にて実施した。

このアイナメ種苗の放流は、昭和二十五年頃から淡路島岩屋で始まり三十二年には、稚魚一八、〇〇〇尾、また、三十五年には、一五、〇〇〇尾が放流された。その後、瀬戸内海栽培漁業協会をはじめ、香川県、兵庫県の各地で放流がなされた。小規模ながら過去十数年にわたって継続されている本事業も近年、除々にではあるが、効果があらわれてきている。

アイナメ幼魚の豊富に棲息する海域は、明石海峡、鳴戸海峡、紀淡海峡などを中心とするイカナゴ漁場に形成されるが、特に、東二見地先は、棲息密度が高いといわれている。アイナメは、五月下旬には五～七㎝に成長し、六月に入って除々に、深い岩場へと移動してゆく。

県漁連では、昨年に継続して放流事業を実施したもので、五月十七日の家島、岩見での放流をかわきりに伊毘、苅藻、沼島、釜口、岩屋、育波、五色、一宮、垂水、林崎、にて各三百㎏づつ放流した。また、県漁連では、六月上旬に淡路島東浦の二カ所での放流を予定している。



漁業者自らの手で放流

〃漁業後継者問題〃

戸谷副知事と懇談

兵庫県漁政懇話会

漁業系統八団体で構成する兵庫県漁政懇談会（代表・兵庫県漁連山田岸松会長）では、かねてより独立水産高校の設置を求める運動を展開しているが、去る五月二十二日神戸で同運動の推進に関し、漁業後継者及び漁協職員の後継者育成につき、戸谷副知事と約二時間にわたり懇談した。

懇談会には県から戸谷副知事や農村水産部次長、水産課長、漁港課長が出席し、また漁政懇話会から県漁連会長はじめ各系統団体正副会長、同専務参事ら十六名が出席した。

席上山田会長は、「この厳しい社会環境を背景として漁業界は優秀な後継者、漁民リーダーの養成が急務である。過去、水産高校問題に対し漁民は無関心すぎたことを反省し、漁業者の子弟に海に対する理解と認識の普及を図り、漁界がPTA的役割を果たすよう努力したい」と所信を明らかにした。また戸谷副知事は独立水産高校の設置に関し、「現在、水産教育振興調査会に山田会長も入って

もらい検討しているが、最も心配されるのは応募者の絶対数不足である。学校経営、運営の点からも問題が残るものである。」とし、また「二〇〇海里問題で国民全体が水産に対し注目している情勢であり、期待に応えるよう努力したい。」と加えた。

さらに出席者から漁協職員の人材不足と高令化が進むなかで、県の助成のもとに指導職員を県漁連等で養成し、漁協に再配置する。また水業改良普及員の増強を図ってほしい等要望も出た。しかし県としては財政上の問題もあるが、普及員制度に関し、最近、は漁業者の方が進んできて高度な技術をもち出し、指導員がついてゆけないという状況にあるとの説明しないとさらに同懇話会では、の題り検査員問題、漁業金融問等を通じて人づくり、優秀な後継者を養成するための意見交換が活発に行なわれた。

瀬戸内海環境保全月間

6・1～6・30

場長就任のごあいさつ

兵庫県立水産試験場　竹末　敏男

四月一日付けをもって、水産試験場長の大役を拝命いたしました。もとより浅学菲才の身でそのうつわではありませんが、誠心誠意与えられた責務に全力を尽して努力する覚悟でありますから、何卒よろしくご教導ご支援を賜わりますようお願い申し上げます。

今更申すまでもないことですが、水産試験場の使命は水産業の振興に必要な試験研究を行なうことであり、当場の基本的な方針としては、基礎的試験研究は行なわず（大学や国の研究機関にお願いする。）、地元水産業界からの要望の強いものから優先的に取り上げることになっています。ところが、最近は行政面からの要求に基づく調査業務が激増し、事業の選択をすることはおろか、本来の試験研究をする余裕もなく、年中調査に追われているのが現状であります。

しかし、これらの調査業務もすべて地元水産業にとって重大な関連をもつものばかりでありますし、調査によって得た資料は海域環境の変化や水産資源の動向等貴重なものが多く、これらを栽培漁業その他あらゆる水産振興面の参考資料として活用し、常に試験場の使命から逸脱しないように舵を取らなければならないと思っています。

今や二〇〇海里漁業専管水域問題は国民の重大関心事であり、その対策については国をあげて最大の努力を払いつつあります。

先ず、沿岸漁業を見直す必要があり、日本海側は昨年から、内海側は本年から、主要漁業と重要魚種について漁場別、漁期別の資源動向を調査することになり、幾つかの漁協に協力方をお願いして実施しています。

一方、資源の保護培養を図るため、従前から実施されています並型魚礁や大型魚礁の設置、保護水面や育成水面の設定、稚魚育成漁場の造成に加えて、明年度から三カ年計画で各数億円の事業費を投じて造成される予定の、南淡路海域における大規模増殖場及び但馬海域の人工魚礁帯についても、事前の適地選定調査と工事設計の検討に必要な調査を実施しつつあります。

また、更に積極的な資源増強の目的で、クルマエビ、ガザミ、マダイ、アユの人工種苗生産放流を行なって参りましたが、本年度からは但馬におけるアワビも計画しております。

また、利用加工面の試験研究としては、多獲魚（イワシ、サバ等）のすり身原料としての利用試験や冷凍魚の効率的な解凍方法の開発研究も手がけております。

これらの事業は、今後益々拡大実施されることは必至でありますが、何れの事業も関係漁協等のご協力を得なければ遂行できないことばかりであります。とにかく、当場で行なう業務はすべて県内水産業振興のためのものであることをご認識のうえ、業界の皆様の絶大なご支援を賜わりますようお願い申し上げます。私も今後は極力業界との連けいを密にし、機会あるごとに皆様方のご意見等を拝聴いたしたく存じておりますので、お気付きの点はご遠慮なくご助言ご叱声下さいますよう重ねてお願いいたします。

関係団体総会内容

	兵庫県漁連	兵庫県信漁連	兵庫県漁業共済組合	兵庫県内海漁船保険組合	但馬漁船保険組合	兵庫県漁業信用基金協会	兵庫県水産公害対策基金
開催日時	昭和53年5月23日 10時30分	昭和53年5月18日 13時	昭和53年5月18日 10時30分	昭和53年4月28日 10時	昭和53年5月4日 13時30分	昭和53年5月17日 13時30分	昭和53年5月19日 13時
開催場所	兵庫県水産会館 大会議室	同　左	同　左	県民会館	但馬漁業センター 大会議室	兵庫県水産会館 大会議室	県民会館
提出議案	第1号議案　昭和52年度事業報告書，財産目録，貸借対照表，損益計算書，剰余金処分案の承認を求める件 以下　第7号議案	第1号議案　昭和52年度事業報告書，財産目録，貸借対照表，損益計算書及び剰余金処分案について 以下　第11号議案	第1号議案　昭和52年度事業報告書，財産目録，貸借対照表，損益計算書及び剰余金処分案について 以下　第6号議案	第1号議案　昭和52年度事業報告書，財産目録，貸借対照表，損益計算書及び剰余金処分案について 以下　第6号議案	第1号議案　昭和52年度事業報告書，財産目録，貸借対照表，損益計算書及び剰余金処分案について 以下　第5号議案	第1号議案　昭和52年度事業報告書，財産目録，貸借対照表，損益計算書及び剰余金処分案について 以下　第7号議案	第1号議案　昭和52年度事業報告書，財産目録，貸借対照表，損益計算書及び剰余金処分案承認について 以下　第2号議案
新役員	会長　山田　岸松 副会長　神頭　宇市 〃　森　吉一 〃　西上　重式 専務理事　塩谷　健次郎 理事　炭谷　恒男 〃　高浜　光次 〃　柳田　弦市 〃　清水　一男 〃　桂　一心 〃　西岡　美彰 〃　丸一　晴美 〃　地道　勝次 〃　堀　実 〃　酒部　竜三 〃　木下　清 〃　村瀬　和夫 代表監事　坂口　八郎 監事　中来田　実 〃　安達　吉造	会長　西上　重式 副会長　山田　岸松 〃　〃　坂口　市松 〃　〃　天野　栄蔵 専務理事　岩城　賢治 理事　村瀬　和夫 〃　樫本　実 〃　地道　勝次 〃　阿部　春雄 〃　炭谷　恒男 〃　木下　清 〃　中村　与助 〃　中川　三二 代表監事　酒部　竜三 監事　安達　吉造 〃　高浜　光次	組合長　西上　重式 副組合長　樫本　実 専務理事　岸　峯夫 理事　村瀬　和夫 〃　信川　純雄 〃　高浜　光次 〃　丸一　晴美 〃　中来田　実 〃　田中　鶴雄 〃　橋本　三次 〃　中村　与助 〃　奥村　勇 〃　日野　顕徳 代表監事　木下　清 監事　高田　貞良 〃　地道　勝次	組合長　神頭　宇市 副組合長　鳴　正次郎 専務理事　浅井　政治 理事　山田　岸松 〃　河村　秀治 〃　清水　一男 〃　森　吉一 〃　堀　実 〃　炭谷　恒男 〃　高浜　光次 代表監事　坂口　八郎 監事　登日　冨男	組合長　西上　重式 専務理事　小林　慶次 理事　木下　清 〃　永田　市三 〃　松井　重明 〃　村瀬　和夫 〃　畑中　昌之 〃　藤原　実 〃　田中　鶴雄 〃　森　順脩 監事　玉脇　周三 〃　浜戸　周三 〃　川口　茂	理事長　小野　賢一 副理事長　山田　岸松 専務理事　藤原　力 理事　西上　重式 〃　福井　源治 〃　炭谷　恒男 〃　矢野　太市 〃　川野　源之助 〃　浜田　福二郎 〃　木下　清 〃　村瀬　和夫 〃　安部　真 〃　松井　修 〃　小川　剛 監事　安達　吉造 〃　釣　秀雄 〃　堀　実	理事長　坂井　時忠 副理事長　山田　岸松 専務理事　森本　勝己 理事　小野　賢一 〃　松井　修 〃　土生　博 〃　神頭　宇市 〃　河村　秀治 〃　高浜　光次 〃　清水　一男 〃　森　吉一 〃　炭谷　恒男 〃　酒部　竜三 〃　坂口　市松 〃　西上　重式 〃　木下　清 監事　酒本　学 〃　丸一　晴美 ※　企業関係選出役員を除く

昭和52年度漁業近代化施設設置一覧表

事業名	事業主体	事業種目	概要	事業費	完成年月
架橋建設地域漁業対策事業	丸山漁協	漁具倉庫	鉄骨スレート2階建　2棟　延　2,082.80㎡ 1階　漁具倉庫　52室 2階　〃26室、共同作業場	千円 44,830 (県15,000)	53.3
	神戸市漁協	魚類加工場	鉄骨ALC2階建魚類加工場　延　2,099.887㎡ (53年度継続事業)	288,867 (県35,000)	53.3
	福良漁協	荷さばき施設	鋼製荷さばき浮台船　200㎡	19,080 (県9,500)	53.3
	南淡漁協	製氷施設	砕氷製氷日産7トン　貯氷　9トン	12,735 (県6,000)	53.3
瀬戸内海地域漁業対策事業	姫路市内4漁協家島漁協	のり漁場浮標灯	2灯点滅式浮標灯　103型網干2基　白浜2基　的形1基　大津1基　家島103型1基　1灯式　105型3基	6,900 (県4,830) 3,619 (県2,533)	53.3
	江井島漁協	漁具倉庫及び冷蔵庫	鉄筋コンクリート2階建 1階　漁具倉庫・冷蔵庫　(45㎡) 2階　漁具倉庫　延　180㎡	23,810 (県11,000)	52.12
	明石浦漁協	冷蔵庫	既設鉄骨2階建のうち1階部分を改装、スレート葺冷蔵庫設置(145,456㎡)　延180,154㎡	27,100 (県12,500)	52.9
	相生漁協	漁具倉庫及び冷蔵庫	鉄骨ALC2階建 1階　冷蔵庫(50.31㎡) 2階　漁具倉庫　延211.91㎡	25,080 (県12,500)	53.3
	坂越漁協	製氷施設	砕氷　日産3トン　貯氷11トン	6,850 (県3,420)	52.11
	播磨町漁協	活魚水槽循環装置	8トン水槽用循環濾過冷却施設　2基	4,445 (県2,217)	53.3
	(社)播磨漁友会	漁民研修施設(播磨漁友会館)	鉄筋コンクリート3階建 1階　管理人室、駐車場 2階　事務室、会議室7 3階大会議室延1,370.10㎡	170,400 (県50,000)	52.12

県漁港課

事業名	事業主体	事業種目	概要	事業費	完成年月
沿岸漁業構造改善事業	明石浦漁協	漁船漁具保全施設	鉄筋コンクリート造3階建1棟　延1,128.54㎡ 1F漁具倉庫、2F作業場 3F漁民研修施設	70,380 (国17,534) (県13,151)	53.3
	室津浦漁協	水産物荷さばき施設	鉄骨造スレート葺平家建1棟　462㎡ FRP活魚水槽　12槽	31,350 (国9,405) (県6,270)	53.3
	福浦漁協	〃	鉄筋コンクリート平家建1棟　120㎡	9,000 (国2,700) (県1,800)	53.1
	浜坂漁協	漁船漁具保全施設	鉄骨造スレート葺2階建1棟　延362.04㎡ 1F荷さばき所、2F作業場	20,004 (国4,220) (県3,165)	53.1
	兵庫県	種苗供給施設	鉄骨造屋根透明硬質板張平家建1棟　112㎡ 鉄筋コンクリート造ポンプ室1棟6㎡、機械設備等1式	33,670 (国13,468) (県20,202)	53.3
	津居山港漁協	漁村環境整備施設	漁村環境総合センター 鉄筋コンクリート2階建1棟　延806.25㎡ 漁村広場　634㎡　1面	90,358 (国45,000) (県9,000)	53.3
水産物加工流通センター形成事業	香住町漁協	冷蔵冷凍施設(冷凍施設)	鉄筋コンコリート2階建1棟 冷凍30トン／12h	92,913 (国21,873) (県18,582)	53.3
	香住町水産加工協	冷蔵冷凍施設(冷蔵施設)	鉄筋コンクリート平家建1棟 冷蔵1,197トン	196,400 (国58,500) (県39,000)	53.3
	明石市	卸売場建物	鉄骨ALC造2階建　1棟　延1,107.6㎡	64,700 (国19,410) (県12,940)	53.3
	明石市水産加工協	処理加工施設	鉄骨ALC造平家建　1棟 魚頭骨8t／日処理	107,950 (国32,070) (県21,380)	53.7 完成予定

(注) 上段　総事業費
　　下段　(　)内補助金

52年度に新設された漁業近代化施設のあらまし

県漁港課では、管内漁港の整備と相まって、各漁港における漁業近代化施設の整備促進を図っているが、昭和52年度において沿岸漁業構造改善事業（国庫補助）、瀬戸内海地域漁業対策事業（県単補助）、架橋建設地域漁業対策事業（県単補助）の3事業によって、次の各種の施設が新設されたのであらましをお知らせする。

◎52年度総事業費

事業名	事業費	国費	県費
	千円	千円	千円
沿岸漁業構造改善事業	254,762	92,327	53,588
瀬戸内海地域漁業対策事業	268,200	0	99,000
架橋建設地域漁業対策事業	365,510	0	65,500
水産物産地流通加工センター形成事業	461,963	137,853	91,902
計	1,350,435	230,180	309,990

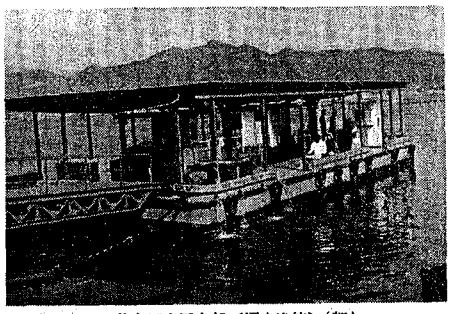
(注：投石事業費は含まず)

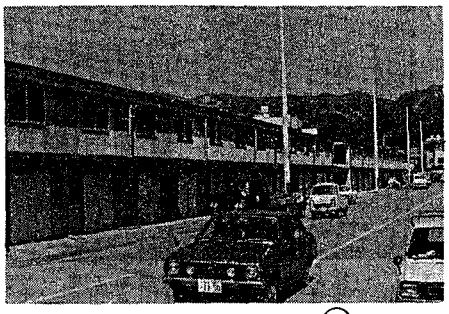
◎事業の概要（左表参照）

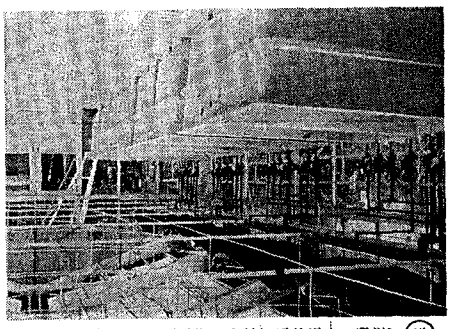
左表の事業の他、投石事業を沿岸漁業構造改善事業で神戸市沖他8ヶ所、架橋建設地域漁業対策事業で沼島沖1カ所（1,000㎥～1,300㎥）を実施した。

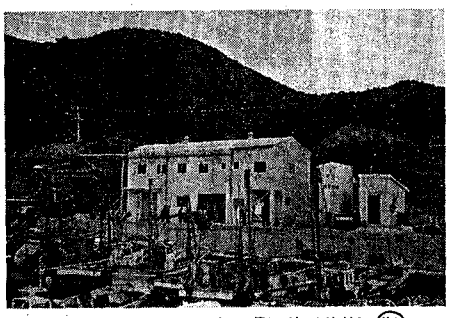
◆……施設の一部写真紹介……◆

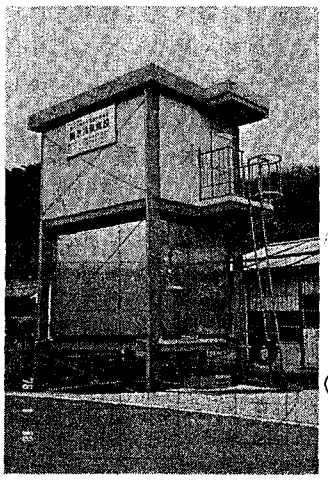
水産物荷さばき施設（室津補漁協）(沿)


荷さばき浮台船（福良漁協）(架)


漁具倉庫（丸山漁協）(架)


あわび種苗供給施設（香住・水試但馬分場内・県営）(沿)


漁具倉庫(2F)及び冷蔵庫(1F)（相生漁協）(瀬)


製氷貯氷施設（坂越漁協）(瀬)

(注) (沿)……沿岸漁業構造改善事業
(架)……架橋建設地域漁業対策事業
(瀬)……瀬戸内海地域漁業対策事業

優勝は室津青年部Aチームへ

第3回　摂播漁青連ソフトボール大会

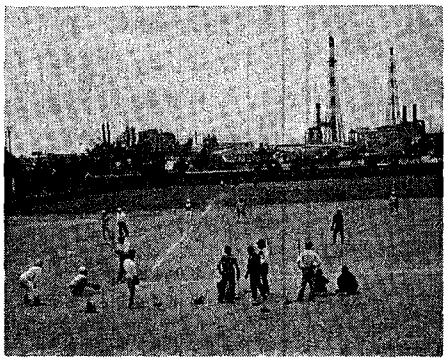
室津漁港青年部Aチームが昨年に続き二度目の優勝の座についた。第三回摂播漁青連会長杯争奪ソフトボール大会が五月四日、高砂市向島球場で八チームが参加して開催され、決勝戦で室津漁協青年部Aが10－3（日没コールド）で同漁協青年部Bに快勝した。

優勝候補のトップにあった姫路市連チームは、準決勝で室津Aチームと戦かい2－1でむかえた最終回、2アウト満塁のピンチに味方内野陣のみだれで、惜しくも逆転負けをきした。

今回の参加チームは、前年にくらべ実力も伯仲し、終始おもしろいゲームを展開した。

来年度は、全参加青壮年部が参加できることを期待したい。

なお当日の結果は次のとおりです。

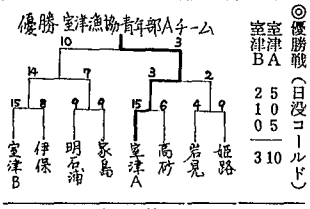


白球をおう青年部員

実力伯仲のゲーム展開

◎優勝戦（日没コールド）

室津A　5　5
室津B　2　10
3　10



水産加工場竣工

神戸市漁協

このたび、神戸市漁協垂水漁港内に、総合水産加工場が建設され、去る五月二十七日午前一〇時より竣工式が催された。

当日、約二〇〇名が出席

■設備概要

設備内容	能力	設台数
シラス煮釜	2.5t/時	2基
シラス自動乾燥釜		2基
イワシ乾燥釜	4t/日	2基
ノリ焼・味付乾燥機	12,000枚/時	1基
ノリ自動包装機	6,850枚/時	1基
高速運搬船	FRP11.86t G M高速機関85馬力 製氷14t/日 貯氷24t	1隻
自動製氷機		4基
その他附帯設備		一式
エレベーター		1基
コンベアー		1基
ボイラー		1基

坂井時忠氏を全面支援

—兵庫県知事選—

去る五月二十九日、兵庫県連をはじめとする漁協系統各団体は、来年十一月予定の兵庫県知事選挙に再度出馬するよう、坂井時忠現知事に要請書を手渡した。

この出馬要請は、五月中に行なわれた系統各団体の通常総会で来たるべき知事選挙には、坂井時忠現知事に三選出馬を要請し、漁協系統の総力を結集して全面支援する決議がなされたことによるもの。

また同日、県漁青連、漁婦連、播磨漁友会、淡路水交会等団体からも同様の要請書を坂井時忠氏に手渡し今後同氏が出馬表明を決定したとき漁協系統組織は即〝坂井時忠氏推せん〟の立場をとることを確認した。

要請書提出団体

兵庫県漁業協同組合連合会、兵庫県信用漁業協同組合連合会、兵庫県漁業共済組合、兵庫県漁業信用基金協会、兵庫県内漁船保険組合、兵庫県内漁船保険組合、財団法人兵庫県水産公害対策基金、兵庫県漁港協会、淡路水交会、社団法人播磨漁友会、兵庫県漁業協同組合青壮年部連合会、兵庫県漁協婦人部連合会、兵庫県瀬戸内海漁業操業安全協会

県漁連総会で祝辞をのべる坂井知事

漁船保険コンサルタント（2）

問、漁船保険にはどんな種類の保険がありますか？又、それぞれについてわかりやすく説明願います。

答　漁船保険とは、普通損害保険、満期保険、特殊保険、漁船積荷保険それに、昭和51年10月より試験実施されております船主責任保険、乗組船主保険があります。これらは何れも、漁業者の経営安定に資するための保険であり、政府が再保険事業を行ない、全面的にバックアップしている国の政策保険でもあります。尚、特殊保険、積荷保険は、現在引受該当船がございませんので行なっておりません。

それでは、ご質問に従いまして、それぞれ説明を加えていきましょう。

まず、普通損害保険、満期保険ですが、内容説明の前に、加入に際して取り決められる。保険価額、保険金額等について簡単にのべておきましょう。

保険価額とは、皆さんが所有する漁船の船価のことをいいます。これは、水産庁が定めた評価標準価額表によって算出致します。

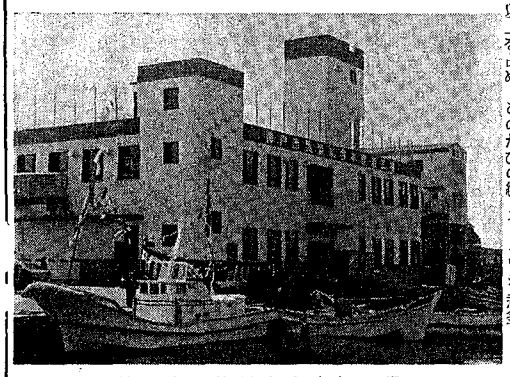
保険金額については、漁船保険組合が補償する最高限度の額をいいます。

この保険価額と対する保険金額の割合いを付保率といい、事故が起きた場合に保険金をお支払する時は、この付保率によって計算されますので、率の高い方が多く支払われるということになります。次に皆さんが納める保険料ですが、管内62漁協の所有する全ての漁船が、義務加入することによって、皆さんが負担する保険料対し、国の補助がつきますので保険料は安くなります。これは、県が指定する区域の加入区内における指定漁船の全部が、3割以上付保することによって得る特典であります。これを国庫負担といいます。

それでは、普通損害保険について説明しましょう。この保険は、皆さん方、大多数が、現在加入している保険をいいます。保険期間は、一年間で、保険料は、掛け捨てですが、保険期間中であれば、漁業従事中に発生した事故に対しては、保険金をお支払いするということは、既にご承知のことと思います。

次に満期保険についてですが、この保険は、漁船の養老保険で、その種類は、3年、6年、9年と三つの種類があります。損害事故に関しての取扱いは、先に説明しました。普通損害保険と同じですが、保険料の構成において、若干の違いがあります。まず、損害に対する保険金支払いに充てるための損害保険料、そして保険期間満了に際して、支払いする保険金額に充当する積立保険料から成り立っています。それに加入条件に制限があります。満期時において本船の場合は、15年、鋼船、FRP船は、25年を経過してはいけません。

又保険価額、保険金額は満期保険期間中変更できない等、色々と取り決められていますが、普通損害保険と養老保険とを兼ねそなえた満期保険は現在、預金金利低下の今日では、利用価値のある保険である事はご理解いただけることと思います



神戸市漁協総合水産加工場

するなかで、海神社の神宮による神事のあと、主催者挨拶、宮崎神戸市長によるかがみ割り、佐野神戸市助役の乾杯により祝賀会へと移った。来賓挨拶のなかで、宮崎神戸市長は、「海洋分割時代に入り、沿岸漁業のもつ使命は大きく、京阪神の大消費地を控えた神戸市漁協にあっては、タイをはじめとする高級魚はもとより「いわし」「いかなご」といった大量に水揚げされる魚にも恵まれ、これらを総合的に加工、提供することは、大いに、時宜を得たことである」と強調した。

これら大量に漁獲されるいかなご、いわし、しらすは、兵庫県瀬戸内海域で水揚げされる漁獲物の六〇％以上を占め、このたびの総合水産加工場の建設は、漁業者の念願であった。

この総合水産加工場は、事業費六億円をかけ、シラス、イワシ煮釜、ノリ火入、味付乾燥機などを備えた新進気鋭のものである。

特殊無線技師電話甲合格者

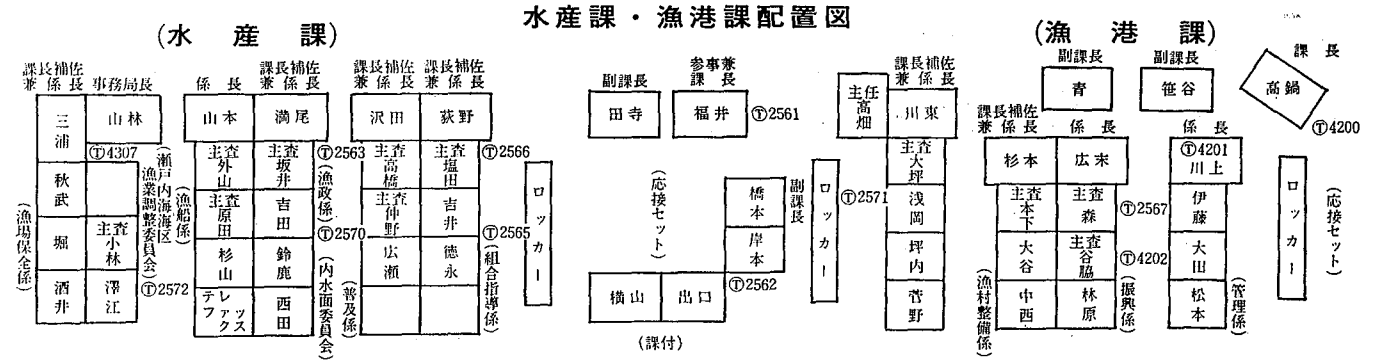
去る五月二十三日から六月三日にわたり無線講習会を江井ケ島漁協にて開催した。以下合格者氏名は、次のとおりです。

〈江井ケ島〉
川崎和夫、川崎直、阪口英夫、橘甚一、橘一彦、橘輝幸、橘秋男、橘正治、仲西政夫、仲西利之、仲西還司、浜田辰治、浜田勝正、浜田正和、浜田忠義、藤本浩、安福裕二

〈魚住〉
竹本昭六、橘正男

〈相生〉
拱本一貢

水産課・漁港課配置図



ワカメ種糸培養のすすめ〈4〉

水産試験場　丹下勝義

◎6・7・8月の作業

先月号までは、糸枠の作り方、採苗の方法、配偶体管理等について説明してきました。

今月号では、この配偶体管理のうち夏期の管理方法について述べてみたいと思います。

六月にもなりますと気温がどんどん上がってきます。また梅雨とは云えその合い間の日射しは強いものです。これにつれてワカメ糸培養槽の水温も上昇してきます。この管理水温が二三℃を越えるようになりますと水槽の中はもう夏です。配偶体は生長を止め休眠期（夏眠ともいう）に入ります。この状態は再び秋に水温が二三℃を降下するまで続きます。この休眠期の間が夏期の管理であります。

さて、この期間の管理については先月号でも書きましたように九〇〇～五〇〇ルックスぐらい（日中の明るさが北側の窓辺の暗い部分ぐらいの明るさ）になるよう暗くしてやります。もちろんこの明るさでは珪藻が充分育ちませんから今まで種糸が褐色になっていたものが若干退色してきます。簡易水槽で培養しておられる方は、一度水交換をして後、北側の軒下等に移し、その上に白色塩ビ製の波板等を載せて暗くしてやればよろしい。それでも明るいようでしたらもう一枚重ねるか、スダレのようなものを載せるようにすれば良いかと思います。またエアレーションも止めます。このようにして秋に再び水温がさがるまで放置しておきます。この間時々見ては蒸発した分だけ淡水を入れるようにして下さい。特に水交換の必要はないと思います。但し虫などが落ち込んで水が腐敗臭がするようなことがあったら水温が著しく変らないような方法で交換して下さい。夏期は水槽が小さければ小さい程気温に左右されやすく、水温が上昇しますから出来るだけ風通しの良い涼しい場所を選んで設置して下さい。枠の上下交換、左右交換等は月に一～二度程度まで省いてさしつかえありません。

以上が夏期高水温期の休眠管理方法です。なお、この管理方法が当分続きますので来月号の執筆は休ませていただきます。

（八月号につづく）

第4回豊漁祈願祭開催

1. 主　旨
漁業操業の安全と水産資源の保護，涵養の思想を，漁業者はもとより広く国民に啓蒙普及するとともに，安心して漁業が営める豊かな漁場を守り，貴重な資源の繁殖を念じ永遠の豊漁を祈願するものである。
2. 主　催
兵庫県漁業協同組合連合会
3. 日　時
昭和53年7月22日（土）15時00分～17時00分（約2時間）
4. 場　所
（陸上行事）香住町漁業協同組合荷捌所
（海上行事：放流場所）香住漁港沖合3㎞附近
5. 協力団体
但馬地区漁協協議会
兵庫県・香住町・県立香住高校（水産科）
6. 行　事
（陸上行事）1. 受付開始（14：30）
2. 着席案内
3. 開式（15：00）
4. 神事　5. 来賓挨拶
6. 祝電披露
7. 閉式（16：00）
（海上行事）1. 放流船分乗（16：00）
2. 全船出港　3. 海上神事
4. 放魚（16：25）
5. 万才三唱
6. 帰港・解散（17：00）

船員法関係手数料の改定について

船員法関係手数料が5月1日（衛生管理者試験の受験手数料は6月1日）から下記に改正されました。

記

新旧手数料額（※は，今回改定されない。）

事　項	改定額	現行額
※1.届入契約の公認	100円	100円
2.船員手帳の交付又は書換え	600	500
※3.船員手帳の訂正	100	100
4.衛生管理者試験の受験	1,500	500
5.衛生管理者の資格認定	700	500
6.衛生管理者適任証書の再交付	600	500
7.救命艇手試験の受験	1,200	500
8.救命艇手の資格認定	700	500
9.救命艇手適任証書の再交付	600	500
10.遺留品目録の証明	500	400
11.航行に関する報告書の証明	700	500
※12.船長の就退職等の証明	200	200
※13.船員手帳の記載事項の証明	200	200
14.船舶料理士資格証明書の交付	800	500
15.船舶料理士資格証明書の再交付	700	500

八十八半記

1、なかよきことは美しい

聖地高野における尊い物故者の供養祭。

司会者、主催者、追悼のことばのすきとおる声が、金山の杜若葉にこだまして敬粛に執行された。

ぼくらの漁村に数々の遺業と、まだまだ活躍を期待された前社家会長のみ霊も、木洩れ陽にただよう香煙の彼方からほほ笑んで居られるようで、「仲よく」ということを、ことあるごとにおっしゃっていた遺訓は、むずかしい理論はぬきにしても、協同組合のバックボーンをダイジェストしたものとしみじみ感じる。

○

あけて五月は新鮮の気みなぎる候。

ぼくは、共済組合と、信漁連と県漁連の総会に出席させて戴いた。

会長の緊迫せる内外諸情勢の報告、期中の好成績と未来像についてのあいさつ。

常に水産に配慮なされておられる知事の祝辞。

議長のテキパキと、しかも円滑裡な議事の進行。

事務局の当を得た説明。表に出ず会の終了まで努力された裏方。

供養祭といい、総会といいほんとうに頼むに足る系統機関に、深甚の最敬礼をすることともに、教えられること多々。

○

さて、

馬鹿なことを書けば大口あけて笑ってもらいたい。思いあがった点にでくわせば批判大いに結構。

初めダッシュする馬はバテルという。

タイトル「八十八半記」の秘を秘めたまま、せかずあせらず、肩ひじ張らず書き進めたいと思う。

○

ひとはひと
われはわれ
されどなかよき

炭坊節じゃないが、噛むほど味のあることばを噛みしめつゝ。

乞　ご期待（53・5・30）

由良漁連　山上

明日のために

兵庫県漁業共済組合

〝漁業共済七五億四千万円引受、計画額に対し五七%上昇〟

二百カイリ時代に入り漁業経営は益々危機に追いこまれつつある現在、漁協の事業として、漁業経営の強力をうしろだてとなる漁業共済制度という基本理念のもとに普及推進してまいりました。

その結果、昭和五十二年度の契約総額において七五億三、八四一万円、利用漁協数において三七組合の実績を挙げることができました。

ア、加入状況

昭和五十二年度にかかる引受総共済金額は七五億三、八四一万円で、うち漁獲共済では六四億五、四八七万円で前年度対比一五七%の伸長率となっておりますが、継続契約における共済限度額の増加と付保率の上昇に新規契約が加ったことにより、このような好成績を納めることができました。

養殖共済では、はまち五億三、五八六万円、のり二、五七六万円で、前年度対比八〇%と減少しておりますが、これはのり養殖の従来方式契約の特定養殖共済へと移行したことにより減少いたしました。

漁具共済では昨年と同様二統の引受を行い引受額一、二九九万円前年度対比一四一%となりました。

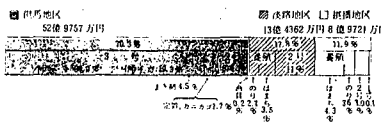
一方特定養殖共済（のり）では五億八九二万円で前年度対比一九五%と好成績を納めることができました。

イ、支払状況

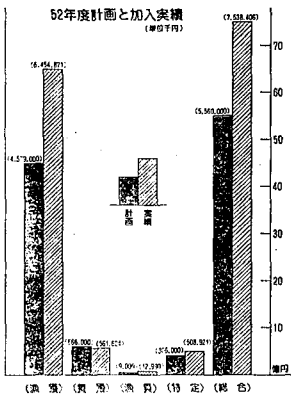
昭和五十二年度における支払額は一億一、〇九五万円でこのほか年度内に責任期間が終了したもので共済金の支払が見込まれる金額は一億三六〇万円となっており総支払共済金額は二億一、四五四万円となります。

その内訳は、漁獲共済一億四、六〇四万円、養殖共済六、八五一万円でありまして、僅かながら苦しい漁業経営の安定に寄与しているものと存ずる次第であります。

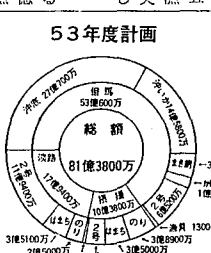
漁業種類.地区別実績　総額75億3840万円



52年度計画と加入実績



53年度計画

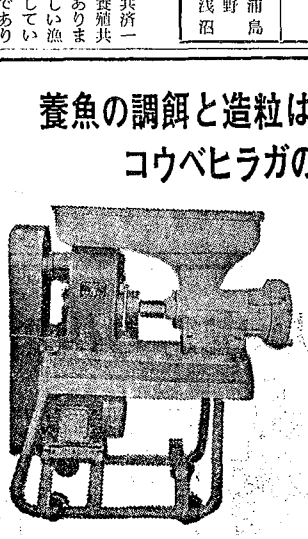


共済加入漁協名及び共済金額

単位　千円

漁協名	共済金額（契約金額）	漁協名	共済金額（契約金額）
香住町	2,380,565	明石浦	44,058
柴山港	1,022,984	富島	40,949
浜坂町	884,855	西二見	27,087
津居山港	867,661	江井島	24,219
東由良町	405,936	東二見	14,376
福良	259,442	大津	4,409
神戸市	253,680	森	4,400
坊勢	201,204	岩見	4,000
丸山	168,390	荊屋	3,960
伊保	148,462	東明石浦	3,168
竹野浜	141,507	魚住	3,000
阿那賀	94,439	別府町	2,200
南淡	92,548	洲本	2,013
林崎	91,331	高砂	1,240
育波浦	88,187	岩屋共栄	960
波懸	74,024	尾上	920
家島	69,498	岩屋	680
浅野浦	57,344	播磨町	400
沼島	54,310	合計	7,538,406

養魚の調餌と造粒は
コウベヒラガのミートチヨッパーで

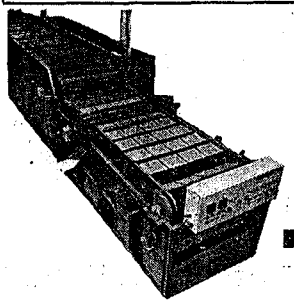


養魚用ミートチヨッパー№32から№72まで各種製作しています。
又最近の人工餌料需要の増加にともない生魚と人工餌料をよく練り合せ造粒装置付チヨッパーで給餌することもできます。

（御一報次第カタログ贈呈いたします）

ミートチヨッパーとプレート，ナイフの専門工場
株式会社 平賀工作所　神戸市長田区水笠通5番5号　TEL 代表神戸(078) 921-2157

省力化の決定版 !!



全自動乾海苔製造装置
ニチモウ ワンマン

ニチモウ株式会社
大阪営業所
大阪市北区中之島2-22（新朝日ビル）
TEL. 06（202）5341

仲間と話そう

明石市漁協職員協議会

『とり舵の会』を訪ねて

昭和五十三年度に入り、拓水の編集体制が整備強化されていますが、折もよく明石市の漁協に務めている組合職員の会である「とり舵の会」から取材希望がありました。

こうした希望が出た事で拓水に対する関心が確実に昂まりつつある事を自覚し、本紙記者は喜び勇んで取材に出かけました。

話に熱がこもる若き職員さん

この日は「とり舵の会」定例幹事会に当たり、その会議の内容や直接幹事諸氏から取材した事を基に、この会の目的、活動内容等をご紹介いたします。

（設立の発端）…目的

読者の皆さんの中で漁協の職員の方には、同じ経験をされた人も多いでしょうが、ある明石市の漁協に新しく職員が就職し、間もない頃の事です。彼は近隣漁協の職員に唯一人として面識がないため、業務上非常に不都合な面があると同時に孤独であると感じました。この事を明石市役所の水産担当者に話をしたところ、他にも同じなやみを持つ職員がいる事を知り、担当者と共に明石市の若い漁協職員に、共通の場を持てる会を作り親睦を図ろうと呼びかけたところ、昭和五十年六月に賛同者が一同に会する機会が得られた。

これがこの会の始まりとなりました。

（会の名称）

このような主旨で、若い漁協職員が中心となって、職員全体の集える会を結成するに至りましたが、まず会の名称を決める事になり色々と案が出ましたが、最終的に「とり舵の会」に決定されました。

一般に船と云うものは、舵をとらずにほおっておくと、かってにおも舵（右方向に曲りだすので、時おりとり舵（左）をとって針路修正をしなければ目的に向かいまっすぐに進まないそうです。

「とり舵の会」とは、この会がある事により、本来あるべき姿に向かい、まっすぐに進めるように、と云う願いがこめられているそうです。

（組織）

会員は明石市の漁協七組合の職員全員であり、この中から新規に就した若い職員が幹事となり運営している。

幹事の任期は二年で、なるべく若い人にこの役が廻ってくるように配慮されているが、例外として常任幹事兼事務局として明石市役所中野明博氏が就任されており運営の円滑化が図られている。

（事業）

会の目的が親睦を中心に置かれているので、この目的に沿い対漁協青年部あるいは明石水試職員とのソフトボール大会、あるいは忘年会を毎年行なっている。

また毎月一回の定例幹事会においては運営方針等について協議されるが、一方ではこの会設立の発端である若い職員の面識を深めるため、「漁協職員としての生きがい」「漁協職員の将来像」などについても話合いが行なわれ、相手を知る一方自己を昂める努力がされています。

以上述べたように「とり舵の会」は二年前から活発な活動を続けていますが、読者諸氏も主旨をご理解され暖かい目で見守っていただきこの会がより一層発展するよう期待します。

＜幹事＞

幹事長　水田恵三（江井ケ島）
〃　幹事　村上貴生（明石浦）
〃　山田典生（明石浦）
〃　花井　宏（林崎）
〃　浜岡　豊（林崎）
常任幹事兼事務局　中野明博（明石市水産係）

100％共販体制に突入

明石浦漁協

荒廃した旧市場

明石浦漁協は、六月一日より一〇〇％共販体制に突入した。

これは明石市が、組合との調整をつけないまま、新設の地方卸売市場（藤江）を五月二十六日より開場したことに抗議したもので、生産者無視の行政が、今後問題を残しそうだ。

同漁協は、従来、昼市を開いていたが、一日からは午前二時から「朝市」も開設し、組合員の自雇のもと一〇〇％共販を実施しているもので、これに向けた役職員の決意がうかがわれる。

明石市地方卸売市場は、昭和五十一年三月末に完成し、昨年六月末に、青果物の取扱いを開始したが、水産物は依然、播淡汽船横の荷揚げ場で取り引きされていたものである。

二十三万人都市「明石」への水産物供給確保のための流通機構の一元化を強調する市側と安くて新鮮な魚の町「明石」の魅力をと伝統的な流通方式を訴える漁協側との歩みよりに期待したい。

S.53 のり生産用資材展示会開催

—県漁連—

県漁連では、去る五月一三日に、播磨町ののり流通センターにおいて昭和五三年度海苔生産用資材器具展示会を開催した。

当日は、前々日までの雨天続きがうそのように新緑が雨に洗われ初夏を思わせる好天に恵まれ、午前八時過ぎには、バスの第一便が満車で到着した。午前中は二台のバスが、ピストン運転で東二見駅からのり流通センターまで往復し、すでに入場者一六〇〇名を越える入出があり、本年の海苔養殖への漁民の意欲が感じられた。参加商社は五七社にのぼり海苔養殖に必要な資材器具等数々の商品が展示され、又高速エンヂンや無線機等漁業者に関心の高い商品が出品され、中でも一層目立ったのは全自動海苔製造装置大球式ダイオードであった。

一方、ニチモウワンマンは、スライドにて説明され今後の海苔機械の省人省力化に関心が集まっていた。

また、本年は、のりはぎ機に各社の製品が集中し、特に従来のすき機と乾燥機をセットして使用出来る西部産業の新製品が好評であった。

その他、各メーカーコーナーのテント前や漁連の即売品にも多くの人が集まり活気に満ちていた。

午後には、和歌山県から四五名がバスで、また、岡山県他県からの来場者もあり、午後三時までには、一八〇〇名余りの来場者を数え盛大のうちに終了いたしました。

きれいな海はみんなの願い

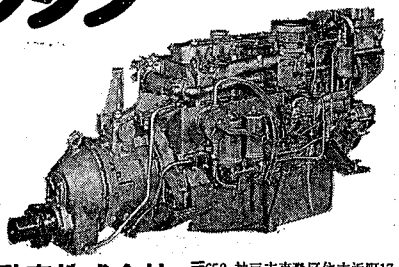
漁協一代（その六）

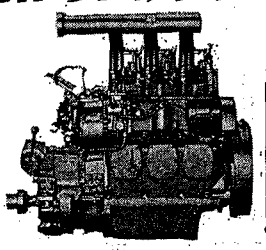
作花英治

前号からのつづき

我が中学時代（三）

私は母屋に走り父母に警察が兄を探していると云うことを告げ。父母は顔色を変へたが、たまたま兄は外出中で母屋にも居なかった。どうか今夜は兄が戻らぬよう祈った甲斐も無く十二時近く帰宅した兄は物陰に身をひそめていた刑事に私たちの目の前で連行されてしまった。このことに遭って私はこわくなってしまった。翌日学校で我々の勉強会解散を仲間に告げ時期の来るまで温和しくしようと言い合った。兄は十日余り豊岡の警察に留置されていたが、毎日の弁当差し入れは私が担当した。弁当を持って行き、空箱を受取って帰るという繰り返へしであったが、ある晩受取った弁当箱が殆んど喰べられなかったと思われる程重かった。家で開いてみると一箸か二箸つけられただけで殆んど残っている。おかしいな身体の調子でも悪いのかなと思いつつ、兄の喰べ残しを平げている中、弁当箱の底からチリ紙に消し炭で書かれた紙片が出て来た。読んでみると「箱裏の紙に包んだ本を焼け」とあった。食事の途中であったが、勉強部屋に飛んで入り、刑事が探がし得なかった壁箱の裏を見たところ新聞紙に包んだ当時の発禁本と思われるものが二〜三冊出て来た。丁度風呂を焚いていたときであったので、すぐ燃やしてしまえ、翌朝の弁当箱の底にオブラードに毛筆ですんだと書いたものをひそませ差し入れた。兄は間もなく神戸に連れて行かれ正月間近に釈放されて戻って来た。聞けば県警部で転向論文を書いてやっと許されたとのこと。鉛筆を指の股にはさんで両指をしめつける拷問のイロハをはじめ色々な話を珍らしい当時の警察のやり口を聞いた。もし発禁本が発見されていたら准党員として起訴されていただろう。あのメモは取調室が宿直室であったが、たまたま電話がかかって刑事が出て行った隙に火鉢の中に残っていた消し炭を拾って袂に入れ留置場で大急ぎでチリ紙に書いて、飯の底にしのばせ、今夜は食欲が無いと云いながら返へしたものだが翌朝のオブラートを見るまでは気が気でなかった。確認してオブラートに飯を包んで呑み込んだが、何よりもうまかったよと述懐があった。そしてお前達も一切手をひけ、猫をかぶれと諭じた。兄に云われるまでもなく、兄連行の翌日から私は学業に専念した。三年の三学期から四月の二年期まで尻から数へる方が早かった一〇〇番台の席次を五年進級の時は七〇番台に恢復していた。

いすゞ マリンエンジン　高速への挑戦！
UM06BBIB
特長
1.小型、軽量、高出力
2.卓越した耐久性、信頼性

神戸いすゞ自動車株式会社　〒658 神戸市東灘区住吉浜町17 TEL(078)811-1171(代)

一滴の燃料を生かす確かな技術
余裕の出力、曳き力抜群！

●船舶主機用3.0〜2400馬力●
●船舶補機用3.5〜3600馬力●
ヤンマーディーゼル
船舶主機〈内海底曳用〉3E15B形〈15馬力/1400回転〉
ヤンマーディーゼル株式会社